

下野谷遺跡でまちを元気に！ ～国史跡「下野谷遺跡」の保存・活用事業の充実～

西東京市では、国史跡下野谷遺跡を『都心に最も近い縄文探訪エリア』として位置付け、市民との協働によって、遺跡の活用事業を展開するとともに、地域振興事業の施策とも併せ、多くの方々から愛される史跡と人の流れや活気を生み出す地域空間の形成を目指します。

1 平成 29 年度の主な事業

(1) 下野谷遺跡保存活用計画の策定

史跡を確実に保存し、未来に継承していくため、今後の保存管理や整備活用の方針を定めるための計画を策定します。

(2) 国史跡指定地の公有地化の推進

首都圏において良好な遺存状態である下野谷遺跡を確実に保存管理し、適切な公開活用を図るため、国史跡指定地の公有地化を推進します。

(3) VR コンテンツの活用と下野谷商品の PR

平成 28 年度に地方創生の取組として製作した VR（バーチャル・リアリティ）コンテンツを、学校での学習や各種イベントなどにおいて活用します。また、周辺地域の商店等が開発した下野谷遺跡をモチーフとした商品を PR することで、本市の歴史や魅力を再認識する取組を進めます。

(4) 縄文モニュメントの設置

最寄駅である東伏見駅付近に、下野谷遺跡から出土した土器やキャラクターなどのモニュメント等を設置し、地元商店街と一体となった地域の活性化を進めます。

2 予算額 67,523 千円



【問い合わせ先】 社会教育課（TEL：042-438-4079）

資料のポイント

- 計画策定の目的 } 貴重な史跡を確実に守り、次の世代へと伝えていきます。
 - 公有地化の推進 }

 - VRコンテンツ } 史跡の価値や魅力を伝えるとともに、地域資源として活用します。
 - 縄文モニュメント }

 - 「VRで下野谷遺跡を大冒険！！」
運用開始に先立ち、お披露目イベントを開催し、先行公開いたします！
(1)日時：3月26日（日）午前11時～午後3時（予定）
(2)会場：下野谷遺跡公園（雨天時：東伏見小学校体育館）
(3)内容：①下野谷遺跡公園内で専用タブレットを利用したVRコンテンツの体験
②地元商店会などで開発・販売する下野谷遺跡関連商品の紹介
③地元小学校の発表や縄文体操・演奏等地域団体によるアトラクション
④イベントMCは知名度急上昇中の若手芸人「地球（人力舎所属）」
- <参加申込>
(1)事前参加申込が必要（詳細は、市報3月1日号及び市ホームページ掲載）
(2)申込定員：300名